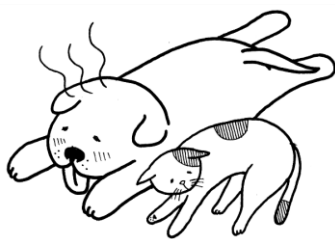


車中の熱中症、 本当に危険です!!



動物の熱中症の原因でもっとも多いのが、車内です。

エアコンをつけずに停車した車内は、熱がこもり温度が急上昇します。そのような車内では、たった数分で熱中症になってしまうことがあります。

また、エアコンの代わりに窓を少し開けたとしても安心はできません。

既に被災地の車中で亡くなっている犬もいます(5月現在)。

※こんな症状が現れます！

- 急激な体温上昇
- 呼吸の乱れ
- よだれを垂らす
- 意識混濁や失神
- ふらつき
- 全身の痙攣
- 嘔吐や下痢
- 目や口内粘膜の充血
- 吐血、血尿、血便

犬の熱中症 【応急処置】

涼しい場所に移動させ水をたくさん飲ませて水分補給を行います。
スポーツドリンクを水で2倍くらいに割って飲ませるのが効果的です。
冷水で濡らしたタオルを体(頭やわきの下、内股のつけね)にかけたり、風呂場や流し台で体全体に冷水をかけるなどして、急いで体温を下げる
ことが重要です。また、体温は下げすぎないように、こまめに体温測定を！
39℃まで下がったら冷やすのをやめて、なるべく早く病院に連れて行き、
獣医師の診察を受けましょう。